

十九名の現代作家による、
もののけ根付展

ものけ
命怪の幸い 第四集

加賀美光訓、狛、三昧、至水、子竹、孺禾、関根蕪
道甫、中梶真武、永島信也、藤井安剛、万征、百々
森謙次、山鹿、由良薰子、楽虫、利歩、れんげ堂

店主挨拶

妖怪・もののけ・異界のモノを題材として現代根付・布小物作家が競演するグループ展の開幕です。総勢 19 名の作家の作品、各作家 1～2 点の根付・提げ飾り、巾着 3 点で、合計 30 点の展示となります（本カタログでは根付作品と巾着のみの公開です）。

隔年で開催してまいりましたこの企画も 4 回目となりました。作家の皆さんから、変わらず楽しく力のこもった作品が集まってきて、お化けの運動会というか文化祭というか、そういう恒例行事をしている気分になってきます。今回も御客様にも作家自身にも、多くの方々に楽しんでいただける展覧会となることを願っております。

今年は、上海のディーラー・元気造物さんからの友情出品で子竹さんの作品も並びますし、中国と日本の国際結婚をして作家活動を始めたばかりの孺禾さんも参加します。彼らは中国大陸に伝わる物語をテーマにした作品を出品してくれました。国境を越え妖怪を通じて仲間が広がっていくことは、素敵なことだと思います。

去年は、「ゲゲゲの鬼太郎」の新作映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」

も大ヒットし、もはや題材としてメインカルチャーに定着しつつあるのが「妖怪テーマ」だと思います。「鬼太郎」シリーズなどでは、もはや人間のほうが妖怪よりも恐ろしい存在として描かれています。そこでは妖怪のほうが時に人間らしく、人間を諭す者としての役どころです。私たちは妖怪の在り方に、自分たちの希望や生きるための強さ、日常の楽しみ悲しみ怒りを映して観ているのではないのでしょうか。江戸時代からその思いは変わっていないのかもしれませんが。浮世絵の歌川国芳《源頼光公館 土蜘蛛妖怪図》でも妖怪は当時の人々を代弁しています。妖怪たちは人間を映す鏡のようです。

また、現代では科学が進みすぎてしまい、世の中には謎のままのモノ、怪しげなモノもあったほうが良いという揺り戻しの願望もあるかもしれません。昔は不条理な事を妖怪の仕業としてきましたが、不条理な現代社会の中では私たちは妖怪たちに希望の力をもらっているように思います。妖怪たちのおかげ「勿怪の幸い」なのです。

根津の根付屋 橋本達士

目次

(項目をクリックすると該当ページに飛びます)

[至水「磯童」](#)

[狛「アクロバティックさらさら」](#)

[加賀美光訓「妖怪根付“夜道のさんぽ”」](#)

[小野里三味「鞍馬山」](#)

[子竹「大蟹」](#)

[孺禾「東海龍王」](#)

[関根蕪「ぬえ」](#)

[道甫「獺の夢」](#)

[永島信也「虚」](#)

[藤井安剛「墓場をふらり」](#)

[上原万征「鷺男惣介」](#)

[百々「隠れん坊」](#)

[森謙次「枕返し」](#)

[山鹿「風呂上がり」](#)

[由良薫子 熔怪絵根付「OCTAGON」](#)

[利歩「妖怪木魚」](#)

[れんげ堂 巾着・大「河童」、巾着・中「鬼」、豆巾着「猫また」](#)

[※ 作品販売について](#)

至水「磯童」

SHISUI "Child of the Sea Spectre-Isowarawa"

4.4 × 1.7 × 2.0 cm

蝦夷鹿角 象嵌：珊瑚、黒水牛角、黒檀
stag antler Inlay: coral, buffalo horn, ebony

198,000 yen



至水 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/ssi/ssi_sale.html

人間に育てられることとなった磯童の周辺には、成長を監視すべく遣わされているのであろう海妖の幽体たちが現れる。好奇心の塊である二歳の童にとっては異形の妖でさえただの玩具でしかなく、今

日も朝から湧いて出た磯女っぼいのを尻に敷き、牛鬼っぺえやつをこねくり回しています……（至水）



狛「アクロバティックさらさら」

KOMA "Acrobatic Sarasara"

5.8 × 3.5 × 2.5 cm

鹿角 象嵌：水牛角
stag antler Inlay: buffalo horn

225,500 yen



狛 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/kom/kom_sale.html

福島を中心に東北地方に出現しているとされる怪異である。さらさらの長い髪に赤い服を身に着け、ビルから飛び降りたり突然出現したりと躍動的な動きを見せることからそのまま名付けられたとされる。目は眼球がなく空洞、左腕に無数の傷があるなどの特徴がある。目

をつけた人間をどこまでも追いかける習性があるため恐れられており、直接名前を言わず「アクサラ」「悪皿」など通称で読んだりもされる。ネットの掲示板で広がっている現在進行形の都市伝説であり、まさに口裂け女の再来。(狛)



加賀美光訓「妖怪根付“夜道のさんぽ”」

KAGAMI Mitsukuni "Yōkai Netsuke, Night Walk on the Street"

5.9 × 2.6 × 2.1 cm

鹿角 象嵌：黒水牛角、黒檀
stag antler Inlay: buffalo horn, ebony

264,000 yen



加賀美光訓 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/mtk/mtk_sale.html

暗闇に包まれた夜道を、提灯小僧の明かりを頼りに唐傘お化けが仲良くお散歩……突然、提灯小僧の前に幽霊小僧が現れ、あらビックリ！ 小僧とはいえ、お化けなのに怖がりとは……可愛いお供です。（加賀美光訓）



小野里三昧「鞍馬山」

ONOSATO Zanmai "Mount Kurama in Kyōto"

5.0 × 3.6 × 3.1 cm

棗 象嵌：マンモス牙、黒檀
jujube tree Inlay: mammoth tusk, ebony

682,000 yen



小野里三昧 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/znm/znm_sale.html

三羽の烏天狗の最初の一の太刀は過去、二の太刀は現在、三の太刀は未来として表現し、それを牛若丸が足で過去をかわし、太刀で現在を受け止め、視線で未来を見据えるという意味をこめています。(小野里三昧)



子竹「大蟹」

ZiZhu "Yōkai, the Great Crab"

4.6 × 2.9 × 1.7 cm

鹿角 象嵌：貝、金
stag antler Inlay: shell, gold

176,000 yen



子竹 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/shg/shg_sale.html

数年前、私は『山海経』に著されている「女丑^{じょちゆうし}戸^{せんがいきょう}」という物語をテーマに作品を制作しました。大きな蟹^{※1}を持つ“女丑^{※2}”という女性がモデルです。今回はこの“女丑”が持つ大きな蟹をモデルとしました。私は蟹の題材がとても好きで、玉石、木、桃の核、漆画などさまざまな素材・技法を用いて蟹に関する作品を制作してきま

した（その中には受賞した作品もあります）。本作では実際の蟹の構造を細部まで観察することで、リアルな形で蟹の形態美を表現しました。また『山海経』に出てくる蟹にはありませんが、本作では背中に中国京劇の面譜の要素を加えることで、作品全体により特徴のある面白みと神秘さを与えました。（子竹）

※1 大きな蟹：全長が一千里（500km）とされる。 ※2 女丑：醜女のこと。なお戸とは死骸の意。



孺禾「東海龍王」

JUKA "The Blue Dragon King who Rules the East Sea"

4.7 × 2.2 × 2.1 cm

鹿角
stag antler

168,300 yen



孺禾 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/juk/juk_sale.html

東海龍王の名前には倉寧徳王敖広、敖広、敖光と、書物ごとにいくつかの記録があります。西遊記の中にも龍王の描写が何度もあり、仏教の経書には、龍王は仏法を守り、海を管理する上で重要な役割を果たしていると記述されています。書物によって龍王の性

格も少しずつ違うのですが、一部の資料と絵を元に、自分なりにデザインしました。この題材を選んだ理由は、今年が辰年であることと、海での被害が出ないよう、願いを込めた作品を制作しようと思ったことがきっかけでした。(孺禾)



関根 蕪「ぬえ」

SEKINE Kabu "Mythical Creature, Nue"

3.0 × 2.9 × 2.4 cm

鹿角 象嵌：黒檀
stag antler Inlay: ebony

187,000 yen



関根 蕪 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/kab/kab_sale.html

鵺はトラグミの不気味な鳴き声から想像された化け物とされています。でも、実際はどのような悪さをしていたのでしょうか。私の想像する鵺は可愛らしく、“トラグミさん鳴いてるね”、と尻尾のへびさんと

お喋りしています。森の奥深くにひっそりと住んでいる「ぬえ」の姿を根付にしました。(関根 蕪)



道甫「^{まみ}猫の夢」

DOUHO "The Dream of a Raccoon Monster"

5.3 × 4.9 × 2.9 cm

鹿角 象嵌：水牛角
stag antler Inlay: buffalo horn

264,000 yen



道甫 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/duh/duh_sale.html

夢を見ている。夢が変化として具現化している。それを猫の夢という。寝狸図。守護の根付。
(道甫)



永島信也「^{うろ}虚」

NAGASHIMA Shin'ya "Female Yōkai that gives the person the chills"

7.0 × 2.9 × 1.5 cm

鹿角 象嵌：ガラス、岩絵具
stag antler Inlay: glass, mineral
pigments

330,000 yen



永島信也 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/ngs/ngs_sale.html

自分が妖怪を作る際は獣系の擬人化をすることが多いのですが、今回はストレートに「女幽霊」をモチーフとしました。ただその中でも自分なりの表現を取り入れたいということで、透かし彫りを用いて

浮遊感のある造形を目指しました。そして、人物の表情がとても良いものになりましたので注目していただけると幸いです。(永島信也)



藤井安剛「墓場をふらり」

FUJII Angō "Fire Spectres Roaming the Graveyard"

4.1 × 3.9 × 2.3 cm

鹿角 象嵌：黒檀
stag antler Inlay: ebony

704,000 yen



藤井安剛 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/ang/ang_sale.html

ふらり火という妖怪を鹿角で彫って、くちなしとインド茜で染め上げました。妖怪の細い足は内側に配置し、根付としての最低限の強度は保ったつもりです。（藤井安剛）



さぎおとこそうすけ
上原万征「鷺男惣介」

UEHARA Mansei "A Man Resembling a Heron in the Yamashiro Province"

5.4 × 3.5 × 3.3 cm

象牙 象嵌: 黒檀、925 銀、18 金、赤銅、
金メッキ

ivory Inlay: ebony, 925 silver, 18-karat
gold, red copper, gold-plated

434,500 yen



上原万征 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/mns/mns_sale.html

山城国で惣介という鷺の姿をした男がいた。あるとき、知り合いの男三人が見世物にしようと企て、惣介を籠に入れようとすると、嘴で目を突かれて失敗してしまった。惣介は自分が狙われたのではなく、

背中に背負った夕飯の“クロサギ”を奪われると思って抵抗したとかしないとか。なんとも奇妙な光景であった。(上原万征)



百々「隠れん坊」

MOMO "Ogre Who Watches from the Shadows"

4.7 × 2.1 × 2.1 cm

櫟

Japanese zelkova

93,500 yen



百々 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/mom/mom_sale.html

物影から辺りの様子を伺う鬼。脅威から隠れることは悪いことではない。恐れを知り、好機を伺い準備をする大事な時間。(百々)



森謙次「枕返し」

MORI Kenji "Yōkai, Pillow Flipper"



4.4 × 3.2 × 2.5 cm

鹿角 象嵌：水晶、白蝶貝、水牛角、
セイウチ牙、珊瑚、鯨歯
stag antler Inlay: crystal, white-lipped
pearl oyster, buffalo horn, walrus tusk,
coral, whale tooth

220,000 yen



森 謙次 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/knj/knj_sale.html

鳥山石燕の百鬼夜行図にも描かれている妖怪「枕返し」。民間信仰で枕を返すことに何か意味があったとは思いますが、僕個人の枕返しの解釈は次の通りです。夜中お布団にくるまって寝っていると、体温で温まった所から少し冷んやりした場所へまず手足で探って少しづつ移動するというのをある程度の方は経験したことがあると思います。僕の友達がその行為を「冷たい所 探検隊」と名付けて、仲間内でウケたことを覚えています。何が言いたいのかというと、人

は快適な空間を求めて一気に移動するより少しづつ探りながら動く生き物であって、当然、枕に頭を乗せて寝ていても常にフィットするのを求めているはず。そういう思い&念のようなものを具現化したのが、妖怪「枕返し」だと考えています。今回制作した枕返しは枕に対して随分デカイ。寝ている人を見下ろしながらも優しく枕を移動する、社寺の門を守る仁王様のように、この根付を持つ人の睡眠を快適な方向へと導いてくれるでしょう。(森謙次)



山鹿「風呂上がり」

YAMAGA "Just Out of the Bath"

5.0 × 3.6 × 2.8 cm

象牙 象嵌：羊角、黒水牛角

ivory Inlay: sheep horn, buffalo horn

236,500 yen



山鹿 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/ymg/ymg_sale.html

風呂上がりにいい気分で提灯お化け、唐傘お化けと家路につく河童です。肩にかけた手拭いは一反木綿です。(山鹿)



由良薫子 ^{ようかい} 熔怪絵根付「OCTAGON」
YURA Kaoruko "Yōkai Picture Netsuke, OCTAGON"

4.4 × 3.1 × 1.4 cm

磁土に上絵、銀彩
overglaze on porcelain, silver-colored

73,700 yen



由良薫子 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/yur/yur_sale.html

釉薬の模様から妖怪を探して描き込む方法を「熔怪」と名付けて作品（器、根付）を制作しています。

今作は鉄釉 1 種類を使用し、その模様から妖怪を探して描き込みました。幾何形態の中に押し込まれた妖怪が浮き出ながら蠢くよう

な想像をして制作しました。

普段の、凹凸の強い「熔怪」シリーズよりも平面的に制作したので、熔怪絵根付としました。（由良薫子）



利歩「妖怪木魚」^{もくぎょ}

RIPPO "Yōkai Mokugyo: a Fish-shaped Wooden Drum"

3.7 × 3.6 × 2.8 cm

黄楊 象嵌：鹿角、水牛角
boxwood Inlay: stag antler, buffalo horn

167,200 yen



利歩 販売ページ

https://www.hanakagesho.com/nezu-netsuke/netsukeartists/rpo/rpo_sale.html

ひょつとすると、近くのお寺の木魚も真夜中にポクポクと…… (利歩)



れんげ堂 RENGEDŌ



巾着・大「河童」：何やら楽しげにおしゃべりする河童たち。

巾着・中「鬼」：鬼に金棒で怖いものなし。お守りにいかがでしょうか？

豆巾着「猫また」：年老いた猫は尾が2本に分かれ霊力を持つと言われます。

(れんげ堂)

巾着・大「河童」

Large Size Drawstring Bag,
"Kappa, Water Imp"

縦 16.5 × 横 14.0 cm

木綿（こげ茶）、現代物木綿（柄部分）、皮革、陶

dark-brown cotton, modern cotton
(patterned parts) , leather,
ceramics

8,800 yen



巾着・中「鬼」

Middle Size Drawstring Bag,
"Ogre"

縦 15.0 × 横 10.0 cm

木綿藍×柿渋染め、古布、皮革、陶
Indigo-dyed cotton x persimmon tannin
dyeing, old cloth, leather, ceramics

8,800 yen



豆巾着「猫また」

Small Size Drawstring Bag,
"Mythical Two-tailed Monster Cat"

縦 10.5 × 横 7.5 cm

木綿帆布墨染め、現代物木綿（柄部分）、皮革、陶

cotton canvas dyed in black (sumi) ,
modern cotton (patterned parts) , leather,
ceramics

8,800 yen



【作品販売方法について】

1 全ての出品作品は展覧会期中に先着順で通常販売いたします。事前のご予約（ご注文）は承っておりません。御了承くださいませ。

2 会期初日 15 日（土）につきましては、展覧会場でのみご注文を承ります。

初日のオープン時間（13:00）に複数人お並びいただいていた場合には、お並びの順番（整理券順※）でご入場いただき、適時（20 分間程）ご鑑賞いただきまして、お並びいただいていた順番（整理券順）でご注文を承ります。

またその際には、ご注文はお一人様 1 点でお願いいたします。

もし 2 点以上ご希望の作品がございましたら、順番が一巡したのちに再度ご注文を承ります。

整理券をお渡ししていないお客様（13:00 以降にご来場のお客様）は、二巡目のご注文のお伺いが終了した後から、ご注文を承ります。

※初日につきましては 11:30 頃から、店舗入り口扉前にて整理券をご用意しておきますのでご利用ください。

それ以前にお並びになる場合には、お客様同士でのトラブルのないよう、適宜お声を掛け合ってお並びいただけましたら幸いです。

ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解とご協力をいただけましたら幸いです。何とぞよろしくお願い申し上げます。

3 会期 2 日目の 16 日（日）以降は、合わせてメールやお電話・FAX でもご注文を受け付けます。

多角度画像をご希望の方も、メールでお申し付けください。

4 ご注文お申込み方法

ご購入をご希望の作家名・作品名、以下の 4 点の項目を合わせてお伝えください。

①お名前

②ご住所・郵便番号

③お電話番号

④ご成約となった場合の作品のお受け取り方法（ご配送 or ご来店）

▼お申し込み・お問い合わせ先

e-mail netsukeya@hanakagesho.com

（メールの件名は「勿怪の幸い作品申し込み」としてくださるとスムーズです。）

tel/fax. 03 - 3827 - 1323

[Order Guide in English](#)

※ご配送の際には、送料の一部ご負担をいただきます。

※お支払いにつきましては、ご配送の場合は銀行振込・ペイパルでのお手続き、ご来店の場合は現金またはカード（1 回払いのみ）で承ります。

※ご注文の受付はメール・fax の場合、1 営業日中に確認いたしましてご返信を差し上げます。

ご不明な点は、メールやお電話でもお受けしますのでお問い合わせください。何とぞよろしくお願い申し上げます。

十九名の現代作家による、もののけ根付展

勿怪の幸い 第四集 デジタルカタログ

2024 年 6 月 14 日 根津の根付屋 刊行

東京都文京区根津 1-1-14 らーいん根津 202

<https://www.hanakagesho.com>